

日曜日礼拝順序

憩いの場

2017年3月12日 午前11時 南部チャペル

“いつまでも続くもの”

前奏		武井里花姉
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
交読文	23 詩編96篇	
賛美歌	23 “くるあさごとに	あさ日とともに”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		下竹由美子姉
	マタイによる福音書11章25-30節	
賛美歌	2篇182 “丘のうえに十字架たつ”	
説教	“主にあるくびき”	Scroggins 由紀牧師
賛美歌	461 “主われを愛す	主は強ければ”
献金		坂田淑姉
報告		
頌栄		
祝禱		Scroggins 由紀牧師
後奏		武井里花姉
(礼拝終了:奉仕開始)		

“このように、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。このうちで、最も大いなるものは、愛である。”（コリント人への手紙13章13節）

先日、礼拝の前に英語部の女性と話す機会があり、一通りあいさつした後、日本はどうかと質問されました。何のことかと思っただら、東日本大震災の話でした。今年で既に6年経ちましたが、まだ彼女の中では、被害の大きさが印象にあるようでした。6年という長い年月において、各地に避難されたり、家族が離散されるなど、大変な苦境にあわれた方々を覚えます。そして福島原発事故は未だに収束されておりません。あの日以来、日本だけではなく世界は変わったように思います。

しかし、このような状況にあっても、信徒として私たちは、いつまでも続くものに目を向けるべきでしょう。聖書の中でパウロは、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛であり、その中で最も大いなるものが愛である、と言っています。私たちはまず神のご慈愛を受けられるからこそ、信仰と希望の意味を知ることができるのではないのでしょうか。神のご慈愛の確かさは、決して変わることがありません。このレントの季節において、私たちは信徒として、信仰と希望、愛を持つことの意味を考えていきましょう。移り変わっていく世の中においても神に感謝をし続け、そのご慈愛の大きさを賛美し続けていきたいと思えます。（Scroggins 由紀）

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

## 記事: 消息

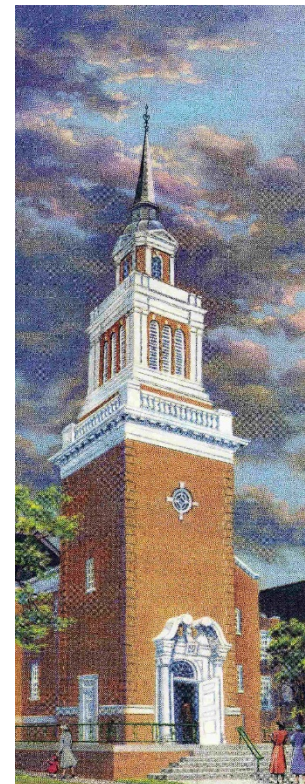
— 陳百合子姉、南部 Ethel 姉、南部勝牧師、英語部の Tony Abiera 兄、Joe Feiler 兄、Kate Whitmore 姉、日本に戻られた小坂るみ姉、加納姉のお孫さんの Casey 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

— 3月5日の説教は“キリストによる平和”と題して、コロサイ人への手紙1章15-20節からでした。御子のご自身の十字架の血により、平和をつくり、神ご自身と和解させられた、というみ言葉から、戦争の悲惨さと、私たちが信徒として平和をつくる意味について考えました。

## お知らせ

— 本日から Daylight Savings Time が始まります。時計を一時間進めるのを忘れないようお願いいたします。

— 3月19日は、午後12時30分より、スペインの宣教旅行のためのファンディングランチがあります。その後2時から、現政権による移民政策改正のなかでの人権保護をテーマとする、“Know Your Rights”と題した無料セミナーが Howel Hall において行われます。皆さん、どうぞご参加ください。



# 週報

第3617号  
2017年 3月12日

---

発行: 2017年3月8日 ノースショアバプテスト教会日本語部  
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)  
電話: 773-728-4200 Ext. 26

ノースショア バプテスト教会 日本語部  
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640  
Phone: 773-728-4200 Web: [www.northshorebaptist.org](http://www.northshorebaptist.org)